# Firepower FDMでのSNMPの設定およびトラブルシューティング

# 内容

はじめに

前提条件

要件

使用するコンポーネント

背景説明

設定

SNMP v3

SNMP v2c

SNMP設定の削除

確認

SNMP v3の確認

SNMP v2cの検証

<u>トラブルシュート</u>

**Q&A** 

関連情報

## はじめに

このドキュメントでは、REST APIを使用してバージョン6.7のFirepowerデバイス管理(FMC)で簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)を有効にする方法について説明します。

## 前提条件

## 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- バージョン6.7のFirepower Device Management(FDM)で管理されるFirepower Threat Defense(FTD)
- REST APIの知識
- SNMPの知識

## 使用するコンポーネント

Firepower Threat Defense(FTD)は、バージョン6.7のFirepower Device Management(FDM)で管理されます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して ください。

## 背景説明

#### 6.7の新機能

FTD Device REST APIは、SNMPサーバ、ユーザ、ホスト、およびホストグループの設定と管理 をサポートします。FP 6.7でSNMP FTD Device REST APIがサポートされている場合:

- ユーザはFTD Device REST APIを使用してSNMPを設定し、ネットワークを管理できます
- SNMPサーバ、ユーザ、およびホスト/ホストグループは、FTD Device REST APIを使用し て追加/更新または管理できます。

このドキュメントに含まれる例では、FDM APIエクスプローラで実行される構成手順について説 明します。



💊 注:FTDがバージョン6.7を実行し、FDMによって管理されている場合、SNMPはREST API経由でのみ設定できます

#### 機能の概要:SNMP FTD Device REST APIのサポート

- この機能は、SNMPに固有の新しいFDM URLエンドポイントを追加します。
- これらの新しいAPIを使用して、システムを監視するためのポーリングおよびトラップ用に SNMPを設定できます。
- APIを介したSNMP設定後、FirepowerデバイスのManagement Information Base (MIB;管 理情報ベース)は、NMS/SNMPクライアントでのポーリングまたはトラップ通知に使用で きます。

#### SNMP API/URLエンドポイント

URL	方式	モデル
/devicesettings/default/snmpservers	GET	SNMPサーバ
/devicesettings/default/snmpservers/{objld}	PUT、GET	SNMPサーバ
/object/snmphosts	投稿、取得	SNMPHost
/object/snmphosts/{objId}	PUT、DELETE、 GET	SNMPHost

/object/snmpusergroups	投稿、取得	SNMPUserGroup(トンネ ルグループ)
/object/snmpusergroups/{objld}	PUT、DELETE、 GET	SNMPUserGroup(トンネ ルグループ)
/object/snmpusers	投稿、取得	SNMPUser
l/object/snmpusers/{objld}	PUT、DELETE、 GET	SNMPUser

# 設定

- SNMPホストには3つのプライマリバージョンがあります
- SNMP V1
- SNMP V2C
- SNMP V3
  - これらはそれぞれ、「securityConfiguration」に固有の形式を持ちます。
  - V1およびV2Cの場合:設定をV1またはV2Cとして識別する「コミュニティストリング」および「タイプ」フィールドが含まれます。
  - SNMP V3の場合:有効なSNMP V3ユーザと、設定をV3として識別する「type」フィールドが含まれます。

## SNMP v3

1. FDM APIエクスプローラにアクセスします

FDM GUIからFDM REST APIエクスプローラにアクセスするには、3つのドットを選択してから、APIエクスプローラを選択します。または、URL <a href="https://FDM\_IP/#/api-explorer:">https://FDM\_IP/#/api-explorer:</a>



#### 2.ネットワークオブジェクトの設定

SNMPホストの新しいネットワーク・オブジェクトを作成します。FDM APIエクスプローラで「 NetworkObject」を選択し、次に「/object/networks」を選択します。



SNMPホストのJSON形式は次のとおりです。このJSONを本文セクションに貼り付け、「value」のIPアドレスをSNMPホストのIPアドレスに一致するように変更します。

```
{
"version": "null",
"name": "snmpHost",
"description": "SNMP Server Host",
"subType": "HOST",
"value": "192.168.203.61",
"isSystemDefined": false,
"dnsResolution": "IPV4_ONLY",
"type": "networkobject"
}
```



下にスクロールしてTRY IT OUT!ボタンを選択し、API呼び出しを実行します。コールが成功すると、応答コード200が返されます。

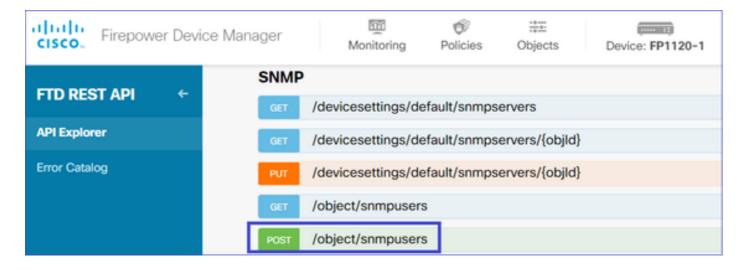


レスポンス本文のJSONデータをメモ帳にコピーします。後で、SNMPホストに関する情報を入力 する必要があります。



3.新しいSNMPv3ユーザを作成する

FDM APIエクスプローラで「SNMP」を選択し、次に「POST /object/snmpusers」を選択します



このJSONデータをメモ帳にコピーし、目的のセクションを変更します(たとえば、「authenticationPassword」、「encryptionPassword」、またはアルゴリズム)。

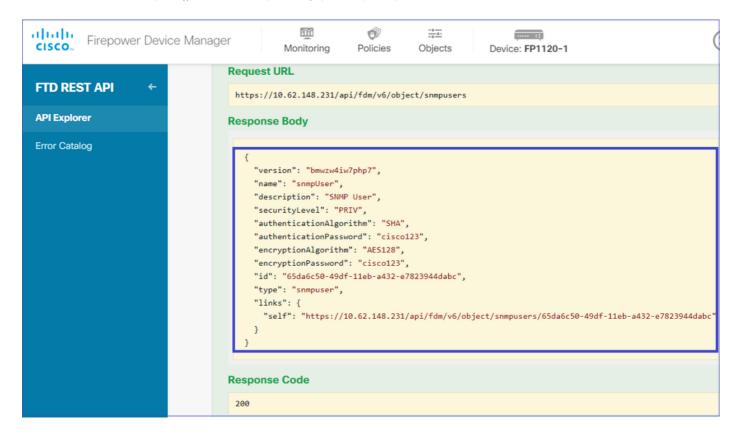
```
{
"version": null,
"name": "snmpUser",
"description": "SNMP User",
"securityLevel": "PRIV",
"authenticationAlgorithm": "SHA",
"authenticationPassword": "cisco123",
"encryptionAlgorithm": "AES128",
"encryptionPassword": "cisco123",
"id": null,
"type": "snmpuser"
}
```

⚠ 注意:この例で使用されているパスワードは、デモ用です。実稼働環境では、強力なパスワードを使用してください

変更されたJSONデータをbodyセクションにコピーします。

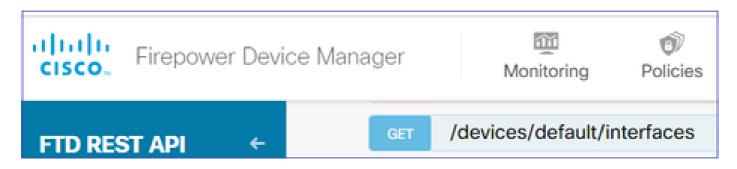


下にスクロールしてTRY IT OUT!ボタンを選択し、APIコールを実行します。コールが成功すると、応答コード200が返されます。レスポンス本文のJSONデータをメモ帳にコピーします。後で、SNMPユーザに関する情報を入力する必要があります。



## 4.インターフェイス情報の取得

FDM APIエクスプローラで、「インタフェース」を選択し、次に「/devices/default/interfaces」を選択します。SNMPサーバに接続するインターフェイスから情報を収集する必要があります。



下にスクロールしてTRY IT OUT!ボタンを選択し、APIコールを実行します。コールが成功すると、応答コード200が返されます。レスポンス本文のJSONデータをメモ帳にコピーします。後で、インターフェイスに関する情報を入力する必要があります。

```
https://10.62.148.231/api/fdm/v6/devices/default/interfaces
FTD REST API
                                         Response Body
                                                 "version": "kkpkibjlu6qro",
API Explorer
                                                 "name": "inside",
                                                 "description": null,
Error Catalog
                                                 "hardwareName": "Ethernet1/2",
                                                 "monitorInterface": true,
                                                 "ipv4": {
                                                   "ipType": "STATIC",
                                                   "defaultRouteUsingDHCP": false,
                                                   "dhcpRouteMetric": null,
                                                   "ipAddress": {
                                                     "ipAddress": "192.168.203.71",
                                                     "netmask": "255.255.255.0",
                                                     "standbyIpAddress": null,
                                                     "type": "haipv4address"
                                                   "dhcp": false,
                                                   "addressNull": false,
                                                   "type": "interfaceipv4"
                                                 },
                                                 "ipv6": {
                                                   "enabled": false,
                                         Response Code
                                          200
```

JSONデータのインターフェイス「version」、「name」、「id」、および「type」をメモします。インターフェイス内部のJSONデータの例:

## <#root>

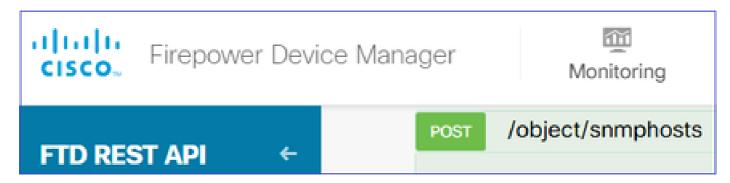
```
"version": "kkpkibjlu6qro",
"name": "inside",
"description": null,
"hardwareName": "Ethernet1/2",
"monitorInterface": true,
"ipv4": {
"ipType": "STATIC",
"defaultRouteUsingDHCP": false,
"dhcpRouteMetric": null,
"ipAddress": {
"ipAddress": "192.168.203.71",
"netmask": "255.255.255.0",
"standbyIpAddress": null,
"type": "haipv4address"
},
"dhcp": false,
"addressNull": false,
"type": "interfaceipv4"
},
"ipv6": {
```

```
"enabled": false,
"autoConfig": false,
"dhcpForManagedConfig": false,
"dhcpForOtherConfig": false,
"enableRA": false,
"dadAttempts": 1,
"linkLocalAddress": {
"ipAddress": "",
"standbyIpAddress": "",
"type": "haipv6address"
"ipAddresses": [
"ipAddress": "",
"standbyIpAddress": "",
"type": "haipv6address"
],
"prefixes": null,
"type": "interfaceipv6"
"managementOnly": false,
"managementInterface": false,
"mode": "ROUTED",
"linkState": "UP",
"mtu": 1500,
"enabled": true,
"macAddress": null,
"standbyMacAddress": null,
"pppoe": null,
"speedType": "AUTO",
"duplexType": "AUTO",
"present": true,
"tenGigabitInterface": false,
"gigabitInterface": false,
"id": "fc3d07d4-49d2-11eb-85a8-65aec636a0fc",
"type": "physicalinterface",
"links": {
"self": "https://10.62.148.231/api/fdm/v6/devices/default/interfaces/fc3d07d4-49d2-11eb-85a8-65aec636a0
}
},
```

JSONデータから、インターフェイス「inside」にSNMPサーバと関連付ける必要のある次のデータがあることがわかります。

- ・ "バージョン": "kkpkibjlu6gro"
- "名前": "内部",
- "id": "fc3d07d4-49d2-11eb-85a8-65aec636a0fc".
- "type": "physicalinterface",

FDM APIエクスプローラで「SNMP」を選択し、SNMPで/object/snmphosts/を入力します



このJSONをテンプレートとして使用します。前の手順のデータをコピーし、それに応じてテンプレートに貼り付けます。

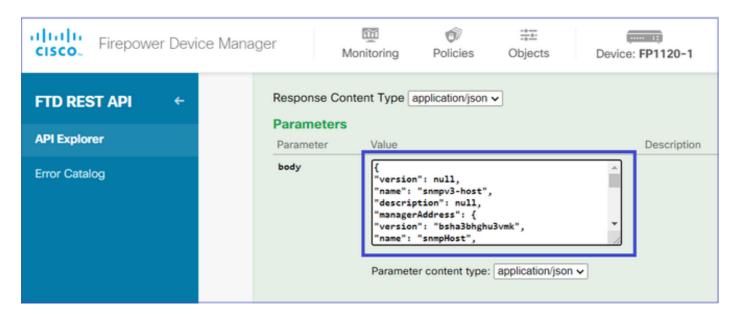
```
"version": null,
"name": "snmpv3-host",
"description": null,
"managerAddress": {
"version": "bsha3bhghu3vmk",
"name": "snmpHost",
"id": "1d10ce6d-49de-11eb-a432-e320cd56d5af",
"type": "networkobject"
"pollEnabled": true,
"trapEnabled": true,
"securityConfiguration": {
"authentication": {
"version": "bmwzw4iw7php7",
"name": "snmpUser",
"id": "65da6c50-49df-11eb-a432-e7823944dabc",
"type": "snmpuser"
},
"type": "snmpv3securityconfiguration"
},
"interface": {
"version": "kkpkibjlu6qro",
"name": "inside",
"id": "fc3d07d4-49d2-11eb-85a8-65aec636a0fc",
"type": "physicalinterface"
"id": null,
"type": "snmphost"
```

## 注:

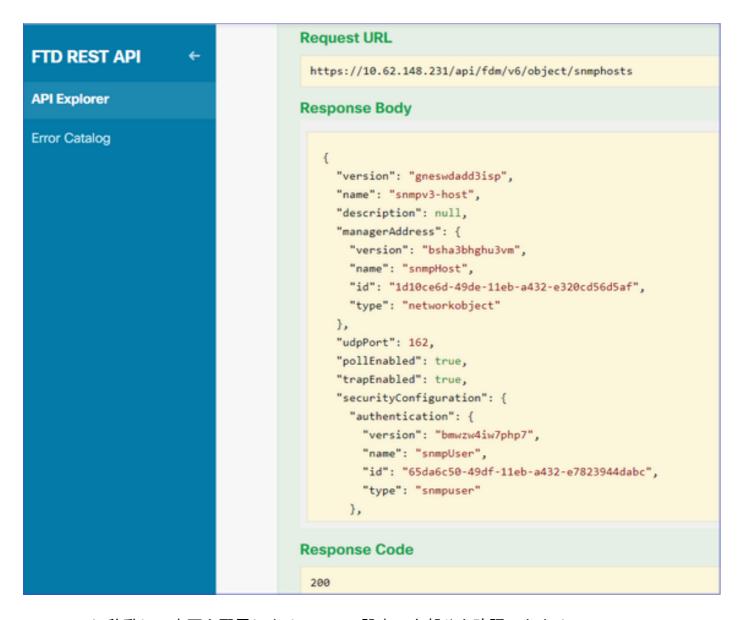
- managerAddress id、type、version、およびnameの値を、手順1で取得した情報で置き換えます
- authenticationの値を、ステップ2で取得した情報で置き換えます

- interfaceの値を、手順3で取得したデータで置き換えます
- SNMP2の場合、認証はなく、タイプはsnmpv3securityconfigurationではなく snmpv2csecurityconfigurationです

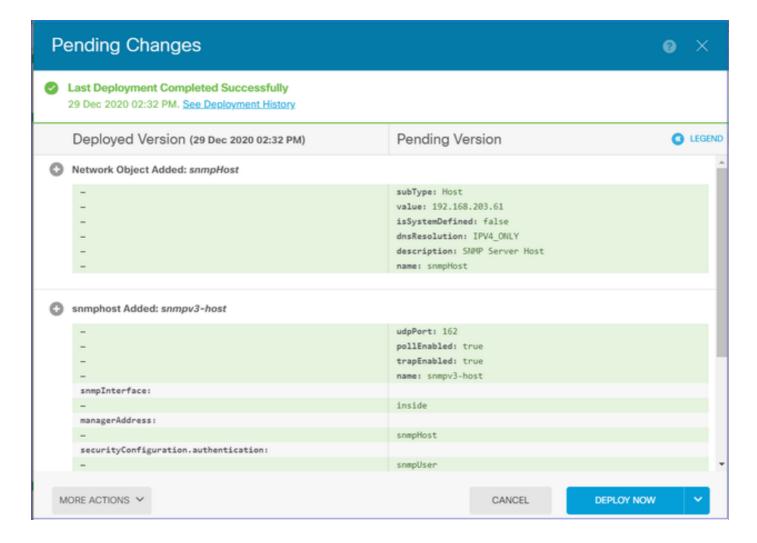
変更されたJSONデータを本文セクションにコピーします



下にスクロールしてTRY IT OUT!ボタンを選択し、APIコールを実行します。コールが成功すると、応答コード200が返されます。



FDM GUIに移動し、変更を配置します。SNMP設定の大部分を確認できます。



## SNMP v2c

v2cの場合、ユーザを作成する必要はありませんが、次の操作を実行する必要があります。

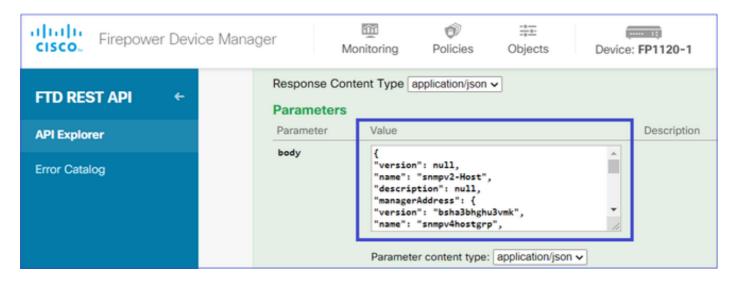
- 1. ネットワークオブジェクト構成の作成(「SNMPv3」セクションの説明と同じ)
- 2. インターフェイス情報の取得(「SNMPv3」セクションでの説明と同じ)
- 3. 新しいSNMPv2cホストオブジェクトの作成

次に、SNMPv2cオブジェクトを作成するJSONペイロードの例を示します。

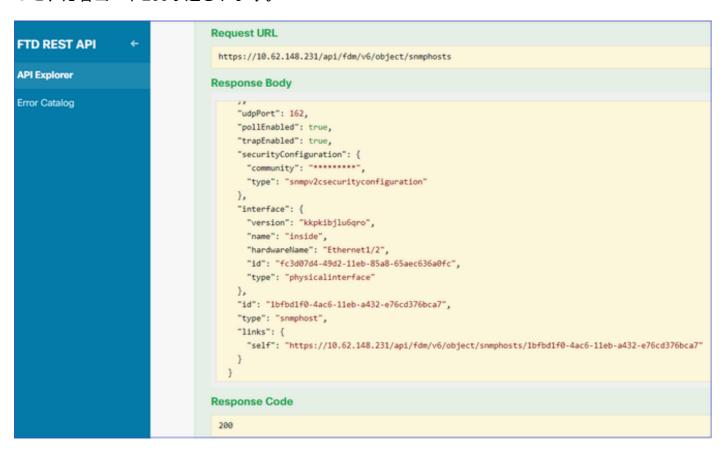
```
{
"version": null,
"name": "snmpv2-Host",
"description": null,
"managerAddress": {
"version": "bsha3bhghu3vmk",
"name": "snmpv4hostgrp",
"id": "ld10ce6d-49de-11eb-a432-e320cd56d5af",
"type": "networkobject"
},
"pollEnabled": true,
"trapEnabled": true,
"securityConfiguration": {
"community": "cisco123",
"type": "snmpv2csecurityconfiguration"
```

```
},
"interface": {
"version": "kkpkibjlu6qro",
"name": "inside",
"id": "fc3d07d4-49d2-11eb-85a8-65aec636a0fc",
"type": "physicalinterface"
},
"id": null,
"type": "snmphost"
}
```

#### POSTメソッドを使用して、JSONペイロードを配置します。



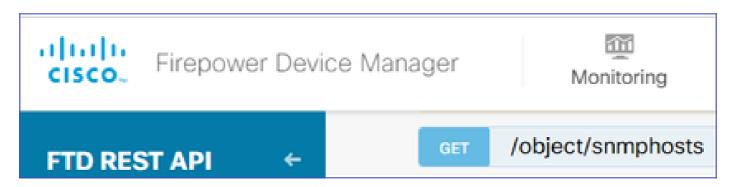
下にスクロールしてTRY IT OUT!ボタンを選択し、API呼び出しを実行します。コールが成功すると、応答コード200が返されます。



## SNMP設定の削除

#### ステップ1:

SNMPホスト情報を取得します(SNMP > /object/snmphosts)。



下にスクロールしてTRY IT OUT!ボタンを選択し、API呼び出しを実行します。コールが成功すると、応答コード200が返されます。

オブジェクトのリストが表示されます。削除するsnmphostオブジェクトのidをメモします。

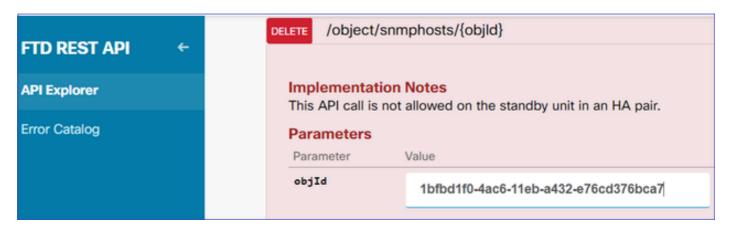
#### <#root>

```
"items": [
"version": "ofaasthu26ulx",
"name": "snmpv2-Host",
"description": null,
"managerAddress": {
"version": "bsha3bhghu3vm",
"name": "snmpHost",
"id": "1d10ce6d-49de-11eb-a432-e320cd56d5af",
"type": "networkobject"
"udpPort": 162,
"pollEnabled": true,
"trapEnabled": true,
"securityConfiguration": {
"community": "*******
"type": "snmpv2csecurityconfiguration"
},
"interface": {
"version": "kkpkibjlu6qro",¬
"name": "inside",
"hardwareName": "Ethernet1/2",
"id": "fc3d07d4-49d2-11eb-85a8-65aec636a0fc",
"type": "physicalinterface"
},
"id": "
1bfbd1f0-4ac6-11eb-a432-e76cd376bca7
"type": "snmphost",
"links": {
"self": "https://10.62.148.231/api/fdm/v6/object/snmphosts/1bfbd1f0-4ac6-11eb-a432-e76cd376bca7"
```

}
},

#### ステップ2:

SNMP > /object/snmphosts{objld}でDELETEオプションを選択します。手順1で収集したIDを貼り付けます。



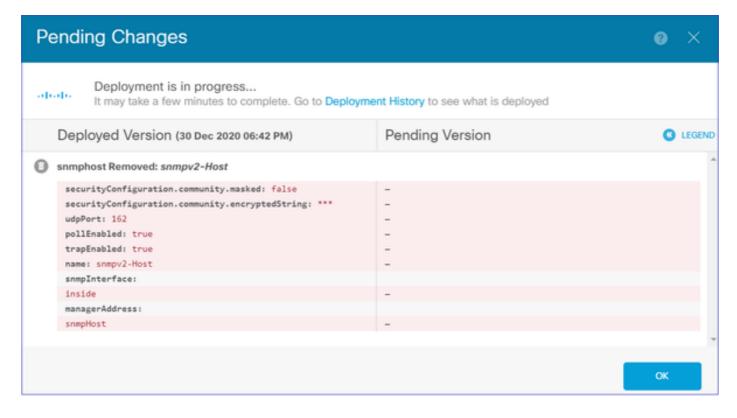
下にスクロールしてTRY IT OUT!ボタンを選択し、API呼び出しを実行します。コールは応答コード400を返します。

```
Response Code

{
    "accept-ranges": "bytes",
    "cache-control": "no-cache, no-store",
    "connection": "close",
    "content-type": "application/json; charset=UTF-8",
    "date": "Wed, 30 Dec 2020 18:00:41 GMT",
    "expires": "0",
    "pragma": "no-cache",
    "server": "Apache",
    "strict-transport-security": "max-age=63072000; includeSubdomains; preload, max-age=31536000 ; includeSubDomains",
    "transfer-encoding": "chunked",
    "x-content-type-options": "nosniff",
    "x-frame-options": "SAMEORIGIN, SAMEORIGIN",
    "x-rss-protection": "1; mode=block"
}
```

## ステップ3:

変更を展開します。



展開によってホスト情報が削除されます。

#### <#root>

FP1120-1#

```
show run snmp-server
```

```
snmp-server group AUTH v3 auth
snmp-server group PRIV v3 priv
snmp-server group NOAUTH v3 noauth
snmp-server location null
snmp-server contact null
snmp-server community *****
```

v2cのsnmpwalkが失敗します。

#### <#root>

root@kali2:~#

snmpwalk -v2c -c cisco123 -OS 192.168.203.71

Timeout: No Response from 192.168.203.71

v3では、この順序でオブジェクトを削除する必要があります。

1. SNMPホスト(成功したリターンコードは204)

2. SNMPユーザ(成功したリターンコードは204)

オブジェクトを誤った順序で削除しようとすると、次のエラーが発生します。

```
<#root>
"error": {
"severity": "ERROR",
"key": "Validation",
"messages": [
"description": "You cannot delete the object because it contains SNMPHost: snmpv3-host2, SNMPHost: snmp
You must remove the object from all parts of the configuration before you can delete it.",
"code": "deleteObjWithRel",
"location": ""
]
}
}
確認
SNMP v3の確認
展開後、FTD CLIに移動してSNMP設定を確認します。engineID値は自動生成されることに注意
してください。
<#root>
FP1120-1#
connect ftd
```

```
connect ftd

> 
system support diagnostic-cli

Attaching to Diagnostic CLI ... Press 'Ctrl+a then d' to detach. Type help or '?' for a list of available commands.

FP1120-1> enable

Password: 
FP1120-1# 
show run all snmp-server
```

```
snmp-server group PRIV v3 priv
snmp-server group NOAUTH v3 noauth
snmp-server user snmpUser PRIV v3
engineID 80000009febdf0129a799ef469aba2d5fcf1bfd7e86135a1f8
encrypted auth sha ca:1b:18:f3:62:b1:63:7e:92:34:92:b3:cf:54:86:f9:8e:2a:4c:fd priv aes 128 ca:1b:18:f3
snmp-server listen-port 161
snmp-server host inside 192.168.203.61 version 3 snmpUser udp-port 162
snmp-server location null
snmp-server contact null
snmp-server community *****
snmp-server enable traps snmp authentication linkup linkdown coldstart warmstart
no snmp-server enable traps syslog
no snmp-server enable traps ipsec start stop
no snmp-server enable traps entity config-change fru-insert fru-remove fan-failure power-supply power-s
no snmp-server enable traps memory-threshold
no snmp-server enable traps interface-threshold
no snmp-server enable traps remote-access session-threshold-exceeded
no snmp-server enable traps connection-limit-reached
no snmp-server enable traps cpu threshold rising
no snmp-server enable traps ikev2 start stop
no snmp-server enable traps nat packet-discard
no snmp-server enable traps config
no snmp-server enable traps failover-state
no snmp-server enable traps cluster-state
snmp-server enable oid mempool
snmp-server enable
snmpwalkテスト
<#root>
root@kali2:~#
snmpwalk -v3 -l authPriv -u snmpUser -a SHA -A cisco123 -x AES -X cisco123 192.168.203.71
iso.3.6.1.2.1.1.1.0 = STRING: "Cisco Firepower Threat Defense, Version 6.7.0 (Build 65), ASA Version 9.
iso.3.6.1.2.1.1.2.0 = OID: iso.3.6.1.4.1.9.1.2663
iso.3.6.1.2.1.1.3.0 = Timeticks: (1616700) 4:29:27.00
iso.3.6.1.2.1.1.4.0 = STRING: "null"
iso.3.6.1.2.1.1.5.0 = STRING: "FP1120-1"
iso.3.6.1.2.1.1.6.0 = STRING: "null"
iso.3.6.1.2.1.1.7.0 = INTEGER: 4
```

snmp-server group AUTH v3 auth

## SNMP v2cの検証

<#root>

# FP1120-1# show run snmp-server snmp-server host inside 192.168.203.61 community \*\*\*\*\* version 2c snmp-server location null snmp-server contact null snmp-server community \*\*\*\*\* v2cOsnmpwalk: <#root> root@kali2:~# snmpwalk -v2c -c cisco123 -OS 192.168.203.71 iso.3.6.1.2.1.1.1.0 = STRING: "Cisco Firepower Threat Defense, Version 6.7.0 (Build 65), ASA Version 9. iso.3.6.1.2.1.1.2.0 = OID: iso.3.6.1.4.1.9.1.2663 iso.3.6.1.2.1.1.3.0 = Timeticks: (10482200) 1 day, 5:07:02.00 iso.3.6.1.2.1.1.4.0 = STRING: "null" iso.3.6.1.2.1.1.5.0 = STRING: "FP1120-1" iso.3.6.1.2.1.1.6.0 = STRING: "null"

# トラブルシュート

iso.3.6.1.2.1.1.7.0 = INTEGER: 4

ファイアウォールでトレースによるキャプチャを有効にします。

#### <#root>

FP1120-1#

capture CAPI trace interface inside match udp any any eq snmp

snmpwalkツールを使用して、パケットが表示されることを確認します。

<#root>

```
FP1120-1#
```

show capture

capture CAPI type raw-data trace interface inside

[Capturing - 3137 bytes]

match udp any any eq snmp

## キャプチャの内容:

#### <#root>

FP1120-1#

show capture CAPI

#### 154 packets captured

SNMPサーバの統計情報カウンタにSNMP GetまたはGet-nextの要求と応答が表示されることを確認します。

#### <#root>

FP1120-1#

show snmp-server statistics

#### 62 SNMP packets input

- O Bad SNMP version errors
- O Unknown community name
- O Illegal operation for community name supplied
- O Encoding errors
- 58 Number of requested variables
- O Number of altered variables
- O Get-request PDUs

```
58 Get-next PDUs
```

- O Get-bulk PDUs
- O Set-request PDUs (Not supported)

#### 58 SNMP packets output

- O Too big errors (Maximum packet size 1500)
- O No such name errors
- O Bad values errors
- O General errors

#### 58 Response PDUs

0 Trap PDUs

入力パケットをトレースします。パケットは内部NLPインターフェイスに対してUN-NATです。

#### <#root>

FP1120-1#

show capture CAPI packet-number 1 trace

30 packets captured

1: 17:04:16.720131 192.168.203.61.51308 > 192.168.203.71.

161

: udp 39
Phase: 1
Type: CAPTURE
Subtype:
Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

MAC Access list

Phase: 2

Type: ACCESS-LIST

Subtype:

Result: ALLOW

Config:

Implicit Rule

Additional Information:

MAC Access list

Phase: 3

Type: UN-NAT

Subtype: static Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

NAT divert to egress interface nlp\_int\_tap(vrfid:0)

#### Untranslate 192.168.203.71/161 to 169.254.1.3/4161

Phase: 4

Type: ACCESS-LIST

Subtype: Result: ALLOW

Config:

Implicit Rule

Additional Information:

Phase: 5 Type: NAT

Subtype: per-session

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Phase: 6

Type: IP-OPTIONS

Subtype: Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Phase: 7 Type: NAT

Subtype: rpf-check Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Phase: 8 Type: NAT

Subtype: per-session

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Phase: 9

Type: FLOW-CREATION

Subtype: Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

New flow created with id 1078, packet dispatched to next module

Phase: 10

Type: INPUT-ROUTE-LOOKUP-FROM-OUTPUT-ROUTE-LOOKUP

Subtype: Resolve Preferred Egress interface

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Phase: 11 Type: ADJACENCY-LOOKUP Subtype: Resolve Nexthop IP address to MAC Result: ALLOW Config: Additional Information: Found adjacency entry for Next-hop 169.254.1.3 on interface nlp\_int\_tap Adjacency :Active MAC address 3208.e2f2.b5f9 hits 0 reference 1 Result: input-interface: inside(vrfid:0) input-status: up input-line-status: up output-interface: nlp\_int\_tap(vrfid:0) output-status: up output-line-status: up Action: allow NATルールは、SNMP設定の一部として自動的に展開されます。 <#root> FP1120-1# show nat Manual NAT Policies (Section 1) 1 (nlp\_int\_tap) to (inside) source dynamic nlp\_client\_0\_192.168.203.61\_intf4 interface destination stat translate\_hits = 0, untranslate\_hits = 0 Auto NAT Policies (Section 2) 2 (nlp\_int\_tap) to (inside) source static nlp\_server\_0\_snmp\_intf4 interface service udp 4161 snmp

バックエンドポートで、UDP 4161はSNMPトラフィックをリッスンします。

translate\_hits = 0, untranslate\_hits = 2

```
<#root>
expert
admin@FP1120-1:~$
sudo netstat -an | grep 4161
Password:
udp 0 0 169.254.1.3:4161 0.0.0.0:*
udp6 0 0 fd00:0:0:1::3:4161 :::*
設定が正しくない、または不完全な場合、UN-NATフェーズがないため、入力SNMPパケットは
ドロップされます。
<#root>
FP1120-1#
show cap CAPI packet-number 1 trace
6 packets captured
1: 18:36:35.868485 192.168.203.61.50105 > 192.168.203.71.
161
: udp 42
Phase: 1
Type: CAPTURE
Subtype:
Result: ALLOW
Config:
Additional Information:
MAC Access list
Phase: 2
Type: ACCESS-LIST
Subtype:
Result: ALLOW
Config:
Implicit Rule
Additional Information:
MAC Access list
Phase: 3
Type: ROUTE-LOOKUP
Subtype: No ECMP load balancing
Result: ALLOW
Config:
Additional Information:
Destination is locally connected. No ECMP load balancing.
```

Phase: 4 Type: NAT

Subtype: per-session

Result: ALLOW

Config:

Additional Information:

Phase: 5

Type: ACCESS-LIST

Subtype:

Result: DROP

Config:

Implicit Rule

Additional Information:

Result:

input-interface: inside(vrfid:0)

input-status: up
input-line-status: up

Action: drop

Drop-reason: (acl-drop) Flow is denied by configured rule, Drop-location: frame 0x0000557415b6347d flow

FTD LINA syslogは、入力パケットが廃棄されたことを示しています。

#### <#root>

FP1120-1#

show log | include 161

Dec 30 2020 18:36:38: %FTD-7-710005: UDP request discarded from 192.168.203.61/50105 to inside:192.168. Dec 30 2020 18:36:39: %FTD-7-710005: UDP request discarded from 192.168.203.61/50105 to inside:192.168.

## Q&A

Q. FTD管理インターフェイスを使用してSNMPメッセージを送信できますか。

いいえ。現在はサポートされていません。

関連する機能拡張の不具合: https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/bug/CSCvu48012

# 関連情報

- <u>Cisco Firepower Threat Defense バージョン 6.7 コンフィギュレーション ガイド (Firepower Device Manager 用 )</u>
- <u>Cisco Firepower Threat Defense REST APIガイド</u>
- Cisco Firepowerリリースノート、バージョン6.7.0

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。